



分科会もスタート！具体的な授業イメージをもって、実際にトライしていきましょう！

先

1 話題提案授業

⇒①実施までの流れ ②日程 ③指導案 ④協議会

①実施までの流れ

パワポから貼り付け

- ・事前検討を分科会で行う。検討を行う際には、予め分科会の研推委員が分科会のメンバー・研究主任・管理職等に声掛けをしておくようにする。（授業者が声をかけなくていいようにしてあげましょう！）
- ・授業者は遅くとも前日までには分科会のメンバーに指導案を配布し、事前に目を通してもらえるようにする。
→指導案が完成していなくてもよいので、70%や80%などできたところまでを提案する。このタイミングでは完璧な指導案の作成を目指すよりも、できた部分を事前に共有してすぐに話し合える土台を作っておくことを第一に考える。

②日程

A授業

- ・講師は今年度も東京女子体育大学教授の石出勉先生を予定。
- ・今年度は計4回の実施を予定。（林先生、竹内先生、笈先生、横山先生）
- ・実施の時期や教科、内容については授業者と学年の先生方で相談の上、決定する。（下記参照）

校内研究日程（予定） ←

5/31	6/16 ←	6/28 ←	7/14 ←	9/6 ←	9/20 ←	10/4 ←
-----------------	--------	--------	--------	-------	--------	--------

- ・網掛けの日（6/16、7/14）は金曜日、他はすべて水曜日

※予定は昨年度のうちすべて水曜日に組まれているため、講師の都合により日にちが多少前後することが考えられる。（石出先生が月曜火曜しか開いていないことが多いため）

B授業

- ・通常の授業時間の中で実施することとし、事前に校内に周知することで広く先生方の参観ができるようにする。
- ・指導案は本時案を中心とした略案形式で作成し、少なくとも前日までに分科会や校内に配布する。

③指導案プロトコル(詳細は別紙参照)

・1月の研究発表では参会者が短時間で授業内容を理解し、具体的にイメージしてもらえるような示し方をする必要があります。

→本番のみならず、今後の話題提案授業（A授業）はすべてA4で4ページ限定。それをA3版両面で印刷して配布。

- ・1ページ目…本を参照
- ・B授業は本時案を中心とした略案形式とし、A4片面1ページで作成する。
- ・その他の板書計画やワークシートや提示資料、座席表などは補足扱いとし、作成することは禁止しない。競技の際などに必要があれば配布する。
- ・講師の先生および管理職の先生に配布する計3部のみ押印。そのほか先生方に配布するものは押印を省略する。

④協議会

- ・ワールドカフェ方式で行い、様々な先生方と意見交流する中で話し合いを深めていけるようにする。
- ・協議会后、リフレクションシートを配布。

時刻	内容	場所
研究授業		
13:25～ ※他のクラスは 13:10完全下校	第3回研究授業 総合「ぼくのニセモノをつくるには」(教材名) 授業者：福樹実奈子(すずかけ高学年)	1F すずかけ4組 教室
研究協議会		
14:20～ (9分)	ROUND1(グループ協議) ・予めくじ引きで分かれていたグループごとに協議	2F PC ルーム
14:29～ (1分)	校長挨拶(校長先生)	
14:30 (10分)	ROUND2(グループ協議) ・ホストを残して席替えし、新しいグループで協議 ・ホスト役の先生はそれまでの協議の経緯を説明する	
14:40 (10分)	ROUND3(グループ協議) ・元のグループに戻って協議 ・出された話題について成果と改善案を短冊にまとめる	
14:50 (20分)	FINAL ROUND(全体協議) ・協議の視点に沿って、各グループの話題を共有していく。 ・作った短冊はすべて発表する。 発表は1人1枚までとし、できるだけ多くの方が発表できるようにする。	
15:10	指導・講評(石出先生)	
15:40	謝辞(副校長先生)	

2 児童アンケート

項目	内容				
概要	今年度の研究に関わる児童の意識調査を行い、児童の実態把握と次年度以降の研究課題決定の資料とする。				
目的	今年度の校内研究を振り返る。ICT 機器の効果的な活用を通し、研究主題「思考したことを、豊かに表現する児童の育成」がどの程度達成されたのかを把握すると共に、次年度以降の校内研究につながる研究の視点をもつ。				
方法	①「Forms」を活用して、四件法で児童一人一人が回答する。 ②年2回の実施により、児童の変容をみとることができるようにする。				
期間	<table border="1"> <tr> <td>入力</td> <td>入力期間：令和5年 月 日()～ 月 日()…各学級</td> </tr> <tr> <td>分析</td> <td>令和5年 月 日()～ 月 日()…研究推進部</td> </tr> </table>	入力	入力期間：令和5年 月 日()～ 月 日()…各学級	分析	令和5年 月 日()～ 月 日()…研究推進部
入力	入力期間：令和5年 月 日()～ 月 日()…各学級				
分析	令和5年 月 日()～ 月 日()…研究推進部				
集計	「Forms」への入力結果をもとに Excel で集約する。				
運用	集計結果を校内全体で確認し、それらをもとに昨年度までのアンケート結果からの変容や学校全体の傾向を研究推進部で分析し、校内で共通確認する。まとめた内容は研究発表の際のデータとして使用する。				

※アンケートの内容については別紙を参照。

3 作業部会スタート

・第1回…5/23（火）…①作業内容の全体像を確認・共有 ②年間（～1月）計画を立てる
研究推進委員の先生を中心に！

作業部会

研究内容の充実を図る取組や、研究発表会に向けた諸準備を行う。

環境部会	渉外推進部会	成果物作成部会	プレゼン部会
松家、渡部、吉野	水流、	松澤、本田、森重、檀原	松田、山岸、林
学習環境の周知・校内掲示板や教室内掲示提案と管理	①保護者や地域等外部と連携した取組の計画と実施・発信 ②講師との連絡・調整	研究紀要やリーフレット等の作成計画提案	研究発表会に向けた基調提案と分科会提案のとりまとめ

・年間予定